

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		女性医師キャリア支援モデル普及推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課		課長：渡邊 真俊		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性がキャリアと家庭を両立できるよう、女性医師支援の先駆的な取組を行う医療機関を「女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関」として選定し、効果的な取組を地域の他医療機関に普及するための経費を支援することで全国の医療機関の支援策の充実を図り、女性医師の離職防止や再就業を促進し、もって医師確保対策に資することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下の事業を実施する。 ・女性医師キャリア支援モデル普及推進事業…地域の医療機関に普及可能な効果的支援モデルの構築及び普及推進 ・女性医師のさらなる活躍を応援するシンポジウム…女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関の活動を全国に発信、女性医師が活躍できる環境整備のあり方について検討 ・女性医師キャリア支援モデル普及推進事業に関する評価会議…女性医師等キャリア支援モデル推進医療機関の選定及び評価を実施 委託先：医療機関								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	21	20	20		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	21	20	20		
	執行額	-	-	16	-	-			
執行率(%)	-	-	76%	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	実施団体数を2団体とすること	実施団体数	成果実績	箇所	-	-	2	-	-
			目標値	箇所	-	-	2	-	2
			達成度	%	-	-	100	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
復職支援活動(相談業務実施、研修実施など)	活動実績	回	-	-	17	-			
	当初見込み	回	-	-	10	10			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	地域との連携活動(他医療機関との連携など)	活動実績	回	-	-	13	-		
当初見込み		回	-	-	10	10			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	検討会等の実施	活動実績	回	-	-	21	-		
当初見込み		回	-	-	10	10			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	シンポジウム参加者人数	活動実績	人	-	-	69	-		
当初見込み		人	-	-	50	50			
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト=X/Y X：執行額 Y：復職支援活動、地域との連携活動、検討会等の実施	単位当たりコスト	百万円	-	-	0.2	精査中		
		計算式	X/Y	-	-	8/51	-		
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.3	0.3	「新しい日本のための優先課題推進枠」20					
	委員等旅費	0.5	0.5						
	庁費	0.2	0.2						
	衛生関係指導者養成等委託費	19	19						
	計	20	20						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策施策											
	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること											
	今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること（施策目標1-2-1）											
	政策評価	測定指標	定量的指標			実績値	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
			人口10万人対医師数 (前回調査時以上/調査時) 調査名: 医師・歯科医師・薬剤師調査(※) 調査主体: 厚生労働省大臣官房統計情報部 ※当該調査は2年に1回の実施。次回調査は平成28年度。				人	-	-	-	-	-
			定量的指標			目標値	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
			就業女性医師数 (前回調査時以上/調査時) 調査名: 医師・歯科医師・薬剤師調査(※) 調査主体: 厚生労働省大臣官房統計情報部 ※当該調査は2年に1回の実施。次回調査は平成28年度。				人	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	女性医師の離職防止や再就業を促進し、もって医師確保対策に資することにより必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ることを目的とする。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
KPI (第一階層)												
(第一階層) KPI		成果実績	単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)										
		成果実績	単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	年々女性医師の割合が増えている状況の中で、女性医師が結婚、出産、子育てなど、様々なライフステージに応じて就業できる環境作りは、医師確保の一環として求められている。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	女性医師支援事業のうち、特に効果的な取り組みについて、地域に普及することをモデル的に行うものであり、引き続き、国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	年々女性医師の割合が増えている状況の中で、女性医師が結婚、出産、子育てなど、様々なライフステージに応じて就業できる環境作りは、医師確保の一環として優先度が高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△	公募を行い、応募団体から提出された企画書等の評価結果に基づき実施団体を選定している						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	交付要綱において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	交付要綱に定められた合理的かつ必要な経費に限られているため、単位当たりのコスト水準は妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している。						
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	各事業主体において効率的な予算執行につとめたこと等による。						
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している。						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	事業実施機関は当初の見込みどおり2カ所となっている。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	女性医師のキャリア支援等につながる事業であり、実効性の高い手段となっている。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	シンポジウムの参加者は当初見込みを大幅に上回った。						
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	実施機関より実績報告を提出させ、外部有識者に評価してもらうことにしている。						
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-	-						
	所管府省・部局名		事業番号		事業名		-					
点検・改善結果	点検結果				・女性医師の中には、出産・育児等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、女性医師の働き続けやすい環境整備の在り方が課題となっており、女性医師支援の先駆的な取組を行う医療機関に効果的な取組を地域の医療機関に普及するための経費等を支援することで、地域の医療機関における女性医師支援策の充実を図ることは必要であり、事業を継続することが重要である。							
	改善の方向性				・女性医師の働き続けやすい環境整備の一環として、引き続き適正な執行に努めたい。							

外部有識者の所見

必要施策ではあるが、現実実施内容が有効であることを示す指標はシンポジウム参加者数では判断がつかない。アウトプットの事業実施件数については他地域での展開がなされた数であれば意味をなすがモデル事業自体での件数であれば種類による内訳記載が必要。
 モデル事業実施の離職率や復帰率の他の地域の改善に繋がっているか、モデル事業の有効施策が横展開された数値などを示す必要がある。経済財政アクションプログラムのKPIを追記すること。(横田 響子)

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の

外部有識者の所見も参考の上、事業の効果測定が適切に行えるよう、より適切な成果指標や活動指標を設定すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

外部有識者の所見を踏まえ、「種類による内訳記載が必要」との指摘であったため本事業で実施した活動等の件数を記載した。また、他地域で展開された件数についての指摘もあったため、「地域での連携活動」の件数について記載した。なお、KPIについては本事業を評価する適切な指標がないため設定していない。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-3		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
16百万円

選定された団体が実施する「効果的支援策モデル」の作成と普及推進に対する支援



【補助】

A. 国立大学法人名古屋大学(6百万円)、国立大学法人岡山大学(10百万円)
16百万円

都道府県、関係団体等とともに地域の医療機関で普及可能な女性医師支援の「効果的支援策モデル」の作成及び普及推進の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

